

2020年度事業報告書

2020年度は、1年を通して新型コロナウイルス禍の状況にあり、進交会の組織運営と財政の両面において大変厳しい年であった。一方で「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、経営の安定と今後の方向を模索した年でもあった。

5月に予定していた理事会及び社員総会は、緊急事態宣言の発令と感染防止対策から残念ながら開催できず、「書面による決議」に変更し実施した。年に一度会員が一堂に会する機会である新年会も、昨年コロナ禍で開催を断念し、今年は1月30日に開催予定していたが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言の再度の発令等により、2年連続で開催を見送った。

また、会館2階のみなと倶楽部と3階会議室の営業も緊急事態宣言と感染防止対策から営業を中止した状態が続き、予算に比べ大幅に収益が落ち込んだ。

一方で“新進交会館落成記念キャンペーン”を5月から実施し、多くの方に終身会費を納めて頂き、収益の確保と同時に進交会への関心を高めて頂けた。また、進交会報は例年10月に1回発行しているが、今年度は4月に85号、12月に86号と2回発行した。第85号は新進交会館落成記念特別号として、落成式及び新会館の概要等の記事の特集し、第86号では市大の新型コロナウイルス対策状況、進交会館での感染防止体制の紹介他、最近の同窓生の活躍など、広く紹介をした。

進交会は「若年層および現役生に“進交会”への関心をどうしたら高められるか」などの課題に直面している。今年度市大同窓会が行った、同窓生と母校、現役生等との連携による地域貢献への取り組みは、今後の進交会の持続可能性を探るものとして、有意義なものであった。

市大、Y校がワンチームとなり同窓生、母校、地域等に貢献できるよう、衆知を集めた取り組み連携を進めて行く必要がある。

I. 2020年度重点目標の評価

1. 重点目標

(1)「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、進交会新時代の収支、経営の安定化と発展の基盤づくりを行う。

○2020年度は、新型コロナウイルス禍の厳しい状況であったが、「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、収益を確保し今後の方向を模索した年であった。

○収入確保のため“新進交会館落成記念キャンペーン”を5月から実施し、多くの方(499名)に終身会費を納めて頂いた。

○“新進交会館落成記念キャンペーン”の実施により、収益の確保と同時に進交会への関心を高めて頂けた。

○また、高齢化に伴う会員・会費の減少への対応として平成22年から導入した会費のコンビニ払いは年々着実に成果を上げている。

○今後の収入の安定確保のためには、同窓会活動を同窓生、現役生、母校、地域などのステークホルダー(関係者)に十分理解して頂き、連携し貢献していくことが大前提である。

○このためには、市大同窓会、Y校会が中心となし、ステークホルダーと十分連携しながら、進交会の定款にも掲げられる3つの目的、市大・Y学校への貢献、会員相互の親交、地域社会への貢献、のための諸活動を進めて行くことが肝要である。

○2020年度は、市大同窓会、Y校会が中心となる連携事業の可能性を探る年として、大変有意義な年であったと評価できる。

(2)新進交會館の広告宣伝活動を広く行い、より多数の会員の利用促進を図る。

○進交會報、進交會ホームページ、同窓生主催事業の広告等において、広く広告宣伝活動を行った。

○進交會報 85号を新進交會館落成記念特別号として発行、令和2年3月4日の落成式及び新會館の概要、會館建替えの経緯、今後の活用への期待等の記事を集めた。

○新型コロナウイルス感染予防緊急事態宣言(第1回4月7日～5月25日 第2回 1月8日～2月7日)にともなう、感染予防対策のため新進交會館の休館を余儀なくされ、2020年度の開館の稼働率は残念ながら著しく低い結果となった。

○今後は、リニューアルを予定している進交會ホームページでの広報に加えて、利用案内のパンフレットを作成し広報に努め、みなと倶楽部と貸會議室の利用促進を図っていく必要がある。

2. 主な事業計画

(1) 市大・Y校への母校支援事業

① 市大・Y校入會金の15%相当を母校に寄付

予定どおり15%相当の寄附を行った。(市大71万円、Y校21万円)

新型コロナウイルス緊急対策基金に100万円(進交會 50万円、市大会 25万円、Y校会 25万円)の寄附を行った。

② 市大生14名に「進交會賞」を授与

3月18日に市大シーガルホールにおいて、14名に「進交會賞」を授与した。

③ Y校生7名に「奨学金」を授与

3月2日、Y校校長室において、7名に「奨学金」を授与した。

④ 美澤皆勤賞の授与(3年間無遅刻 無欠勤のY校生に授与)

3年間無遅刻 無欠勤のY校生40人に授与した。

⑤ クラブ活動及び学園祭などへの助成

コロナ禍のためクラブ活動及び学園祭など開催されなかった。

(2) 進交會報発行

○進交會報(第85号)を、新進交會館の落成特別記念号として4月に発行した。

○進交會報(第86号)を、例年の発行月の10月から延期して12月に発行した。

(3) 進交會ホームページの活用

○ホームページについては最新情報を常に会員にお届けし、年1回の進交會報発行の補填をすることが重要な役目であるが、あまり活用されていない状況にあった。

○ホームページの活用の向上を図るため、企画會議を開催しデザインや構成、コンテンツ等を検討し、早期更新に向けた調整を行った。

(4) 同期会・ゼミ、部活OB会等の開催支援

[市大]

○部活あるいはゼミのOB会等々を中心に開催支援を続けているが、2020年度は、コロナ禍により残念ながら、開催の連絡が無く、支援の機会が無かった。

○市大新聞縮刷版出版は、進交会報 86号に掲載して広報の支援を行った。

○フェイスブックに「横浜市立大学同窓会コミュニティ」を開設し活動を紹介、市大卒業生に登録の呼びかけを続けており、登録者は徐々に拡大してきている。

[Y校]

○平成22年よりY校卒業生の60歳還暦同期会の他、各年度の同期会、部活OB会の開催を支援している。

○2020年度はコロナ禍により残念ながら、Y校昭和43年卒業、昭和48年卒業の同期会開催が中止となった。

II. 会員の状況(2021年3月31日現在)

1. 本年度新会員

市大 (大学院卒を含む)	940名
Y校	275名
合計	1,215名

2. 会員総数

区分	会員 (物故者を除く)	住所不明者	住所登録者数
市大	36,898	17,673	19,225
Y専	847	584	263
Y校	24,981	9,601	15,380
合計	62,726	27,858	34,868

【市大生内訳】

区分	会員 (物故者を除く)	住所不明者	住所登録者数
商学部	14,529	6,864	7,665
文理学部	9,273	4,697	4,582
国際文化学部	1,033	687	346
理学部	691	376	315
国際総合科学部	4,625	1,694	2,931
医学部(医専・医大)	2,685	1,219	1,466
看護(高等看護含む)	3,626	1,979	1,647
大学院 他	430	157	273
合計	36,898	17,673	19,225

Ⅲ. 進交会の定例事業

1. 社員総会

一般社団法人に関する法律 第58条1項（社員総会の決議の省略）に基づき書面での決議に変更した。

- (1) 提案者： 代表理事 古屋文雄
- (2) 社員総会の決議があったとみなされた日： 2020年6月12日
- (3) 社員総会の決議があったとみなされた事項
 - ① 第一号議案 2019年度 事業報告(案)の承認
 - ② 第二号議案 2019年度 決算報告書(案)承認
 - ③ 第三号議案 2020年度・2021年度 理事・監事選任決議の件
第一号議案、第二号議案、第三号議案が承認された。

2. 進交会報第85号・第86号の発行

進交会報は例年10月に1回発行しているが、2020年度は、4月に85号、12月に86号の2回発行した。第85号は新進交会館落成記念特別号として、令和2年3月4日の落成式及び新会館の概要等の記事を特集した。第86号では、市大の新型コロナウイルス対策状況、進交会館での感染防止体側の紹介他、最近の同窓生の活躍を紹介した。

3. 新年懇親会の開催

年に一度会員が一堂に会する機会である新年会は、昨年コロナ禍で開催を断念し、今年度も1月30日（土）に崎陽軒本店での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言の再度の発令等により、2年連続開催できなかった。令和4年は、1月29日（土）に崎陽軒本店にて開催の予定である。

Ⅳ. 理事会、各委員会及びその他の会合

1. 理事会

第1回理事会 2020年6月26日(金) 17時00分より

第1号議案 令和2.3年度役員選定の件

第2回理事会 2020年6月26日(金) 17時15分より

第1号議案 公益目的支出計画実施報告書(案)承認の件

第2号議案 顧問承認の件 相談役推薦の件

第3号議案 令和2.3年度各委員会委員候補者承認の件

第4号議案 職員夏季賞与支給の件

第3回理事会 2020年11月27日(金) 17時00分より

第1号議案 2020年度上半期決算承認の件

第2号議案 委員会委員選任の件

第3号議案 2021年進交会新年懇親会開催承認の件

第4号議案 職員冬季賞与支給の件

第4回理事会 2021年4月30日(金)

新型コロナウイルスまん延防止により書面での決議に変更

2. 各委員会

(1)総務財務委員会

- ① 新進交會館落成記念キャンペーンを5月から実施し、499人の多くの方に終身会費を納めて頂き、進交會への関心を高めて頂いた。
- ② 新進交會館の場所をわかりやすくするため、「進交會」と大きく目立つ銘板を作成し9月に設置を行った。
- ③ コロナ禍のため、法人法第58条1項（社員総会の決議の省略）に基づき、書面による社員総会の開催を行った。（決議があったとみなされた日 6月12日）

(2)会報・HP委員会

- ① 進交會報を、年度に2回編集・発行を行った。（4月に85号、12月に86号を発行）
- ② 第85号は新進交會館落成記念特別号として、令和2年3月の落成式及び新會館の概要等の特集して発行した。第86号では、市大の新型コロナウイルス対策状況、進交會館での感染防止体側の紹介他、最近の同窓生の活躍を紹介した。
- ③ 進交會ホームページの活用の向上を図るため、企画会議を開催しデザインや構成、コンテンツ等を検討し、早期更新に向けた調整を行った。

(3)事業委員会

- ① 令和2年4月7日～5月25日そして令和3年1月8日～2月7日の2度の緊急事態宣言の発令により、みなと倶楽部、貸會議室を休業。
- ② 令和2年6月からスタートしたみなと倶楽部・會議室の売上はコロナ禍により旧進交會館みなと倶楽部の最終年度売上の12.8%にとどまる。

年 度	売上金額	割 合
平成28年4月～平成29年3月	11,026,310円	
令和 2年4月～令和 3年3月	1,418,820円	12.8%

- ③ 貸會議室利用を高める。
粗利益率の高い貸會議室利用を促進する。

◎ 貸會議室利用料

	2時間まで(@1部屋)	以後1時間増す毎に
会 員	3,000円	1,000円
非会員	5,000円	1,500円

3. 部 会

(1)横浜市大同窓会(市大会)

市大会は、2019年度から新たな会則に基づいて、「横浜市大同窓会」という名称で、これまでの同窓生の交流会としての同窓会事業に加え、母校の支援、現役生との交流、地域社

会貢献等、活動の幅を広げている。2020年度は、新型コロナウイルス感染予防のためオンラインでの活動を中心に各種事業を行った。新たな取り組みとして、横浜市立大学創立100周年に向けて、同窓生が大学の学生・教員と連携して、SDGsの諸課題解決に取り組んだ。

【市大同窓会総会2020】

○コロナ禍のため開催が大幅に遅れていた総会を、緊急事態宣言(第1回目)の解除後の10月31日(土)に新進交流会館会議室において開催した。

○感染予防対策を十分遵守し、参加人数をオンライン併用で制限することで、実施することができ、活発な意見交換が行われた。

【コロナ禍で困窮する学生等への支援】

○横浜市大の「新型コロナウイルス緊急対策基金」への募金を、進交会報に加え、メール等でのダイレクトメッセージ、市大同窓会fbグループなどで呼びかけ、大勢からの協力を得た。

○コロナ禍で困窮する学生等への支援として、横浜市大同窓会から基金に、250,000円の寄附を2020年12月に実施した。

【YCU REUNION オンラインミーティング】

○同窓生の交流の場、課題解決の場として、「YCU REUNION オンラインミーティング」を、2020年5月から2021年3月まで、月に3回程度(計28回)開催した。

○横浜市大同窓生・市大現役学生・教員他、広く参加、市大の学長、理事長にもご参加いただいた。

【SDGs実践事業への取り組み】

○同窓会会則に謳う、SDGsへの貢献の実践として、“横浜市のSDGsサポート補助事業”に取り組んだ。オンラインミーティングにより同窓生間や学生との連携を広げながら、大学との連携協力のもと、「食育」と「海の環境整備」などをテーマとしたモデル実践事業を行った。

○市大の全学生(医学看護を除く)を対象に、「食育」に関するアンケート調査を実施した。

○「海の環境整備」の実践として、月に1回、野島海岸の清掃活動に同窓生が参加した。

○アンケート分析結果と、実践事業の概要について、2021年2月24日に報告会を大学の協力を得てオンラインで開催した。同窓生、現役学生はじめ多くの方々に参加頂いた。

【YCU REUNION シンポ 2021 の開催】

○YCU REUNION(市大同窓会)主催のシンポジウムを、2020年1月9日(土)に市大みなとみらいサテライトキャンパスを拠点に、オンラインウェビナーにて開催した。

○多くの同窓生、市大学生、研究者、約60人の参加を得て開催。同じ目標を共有し話し合う過程で、現役学生さんたちの的を得たコメントや、参加の皆さんの熱い思いに触れる場面もあり、同窓生が連携することの意義や効果の大きさを実感できる内容であった。

○シンポジウムの内容は、アーカイブとして“YouTube YCU REUNION”に掲載中。

【横浜市大同窓会名簿の充実】

○会員のメールアドレスが把握できておらず、メールでの連絡が出来ないことから、同窓生の情報共有、連携強化を進めるためにメールアドレス把握のための調査を実施した。

○回収率が極めて低かったため、QRコードを使うなど手法を変えた実施が必要である。

【SNSによる情報発信と交流促進】

○同窓生への情報発信と交流促進のため、“fb市大同窓会公開グループ”と“fb横浜市大&市大同窓会SDGs”、“YouTube YCU REUNION”を運営している。

○2021年度末のfb会員1,000人越えをめざしている。

(2)Y校会

2020年度も昨年に引き続き『母校への積極的支援』『組織の拡大・活性化』をテーマに掲げ取り組んできたが、コロナ禍により各種行事、イベントの中止を余儀なくされ冬眠状態、エネルギー備蓄の1年であった。

【母校への積極的支援】

① 『Y校会海外奨学金制度』

国際社会を舞台に活躍を目指す横浜市内在住・在学の高校生を対象とした、横浜市主催の「世界を目指す若者応援事業」の一環として、台湾・ニューヨーク留学に自費で参加する生徒を対象に、Y校会は平成29年から応援事業を実施している。

令和2年度はコロナ感染症の影響により横浜市の募集が中止となり、台湾・ニューヨークへの留学生がなく海外奨学金は未支給である。

- ② 横浜市大の新型コロナウイルス感染症治療にあたる附属第2病院や、学生支援のための「新型コロナウイルス緊急対策基金」への寄付250,000円を令和2年12月に実施。
- ③ 『漫画で知るY校のはじまり』の小冊子を令和3年3月の入学手続き時に新1年生に配布した。

【組織の拡大・活性化】

- ① コロナ禍による外出自粛ムードが強まる中、各行事、イベント等への参加者が見込めず、感染予防の見地からも同期会・部活OB会の開催支援、毎年恒例の歌舞伎鑑賞教室や寄席鑑賞、そして社会見学会、Y校会の集い等の行事をすべて自粛、中止せざるを得ず組織の拡大・活性化は低迷した。
- ② 昭和50年代以降卒業の次世代会員の増員と目標に掲げる「正会員1,000名体制確立」へ向けて役員、幹事一同が取り組んでいる。

【新進交流会館落成への対応】

Y校同窓会のシンボルである新進交流会館の落成を祝し、新たな進交会の出発と飛躍を応援し、年2回発行の「Y校会だより」を通じて「新進交流会館落成記念キャンペーン」への積極的協力を会員に依頼する。

【令和2年度に向けて】

- ① 新進交流会館の落成を機に、次世代(昭和50年代卒)の時代到来を見据え、より魅力ある企画や積極的な活動により「組織の拡大と活性化」を推進する。
- ② 母校支援では『Y校会海外奨学金制度』の継続実施の他、『Y校のSDGs活動』を積極的に支援する所存である。

VI. 母校関係

1. 市大・Y校行事

- (1)市大 ① 入学式 2020年4月6日(月) 大学関係者のみで開催された。
② 卒業式 2021年3月25日(木) 大学関係者のみで開催された。
③ 「第69回医学のために献体された方々への感謝の集い」
新型コロナ感染拡大防止により大学関係者のみで開催された。
- (2)Y校 ① 入学式 2020年4月7日 学校関係者のみで開催された。
② 卒業式 2021年3月2日 学校関係者のみで開催された。

2. 表彰・支援

(1) 表彰

- ・市大 「進交会賞」 14名 (国際総合科学部12名、医学部2名)
- ・Y校 「奨学金」 7名 (クラスの成績優秀者)
- 「美澤皆勤賞」 40名 (3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与)

(2) 広告掲載

- ・市大: 運動部連合会、管弦楽団
- ・Y校: Y校文化祭、Y校吹奏楽部OBバンド演奏会

(3) 母校への支援

- ・市大: 寄付金/71万円、
コロナ禍で困窮している学生の生活支援への助成
- ・Y校: 寄付金/21万円

3. 新型コロナウイルス緊急対策基金

感染患者の治療にあたる附属病院や、学生支援のための基金への募金に協力。

- ・100万円(内:市大会25万円、Y校会25万円) 寄附
2020年12月8日 古屋理事長・金子副理事長が市大二見理事長を訪問し、古屋理事長から目録を手渡した。
- ・進交会報にパンフレットを同封するほかfb等で広く会員に広報、進交会員から市大に多くの募金が寄せられた。

VII. 支部活動関係

新型コロナウイルス感染予防等のため、残念ながら支部の多くが総会・例会を開催できなかった。今後は、リニューアルを進めているホームページにおいて、支部の諸活動の紹介を行っていく。